

長光寺墓地移転協議会

第6回運営委員会議事録

令和2年10月25日開催

開 会

第6回運営委員会は長光寺「石之蔵空華」にて10月25日午後2時、小堀邦雄副会長が開会を宣言した。

続いて、長島宏会長が挨拶を述べ、出席者に対し、謝意を表すとともに慎重審議を求める。

福島伸悦住職挨拶

前回の運営委員会以降の経過報告と本日の議案採択の趣旨を述べる。

- ・ 行田市の土地払下げの進捗状況に関し、4日前に担当部署の財産管理課に確認したところ、今月中に5筆になっている土地の合筆を行い、11月中旬には代金請求を予定しているとのこと。
- ・ また、代金決済の準備のため、国交省に既存墓地の補償見込み額を問い合わせしている中で、檀家に対する移転補償も含め最終的な契約は令和4年4月以降との話も戴いた。
- ・ 従って、まずは難航が予想される新墓地の区画や移転場所の確定を進めることと、それに伴う石材業者等の選定が必要と考え本日の議案とした。

アンケート結果報告

福島住職が別紙「アンケート結果（156通返信：令和2年10月18日現在）」に基づき報告。この中で、ロ 新墓地区画について で「了承しない」との回答者には直接話を聞いた。また、ホ 外柵について 「隣の墓地との境界は個々にしたい」との回答は6ではなく、66以上の誤りであり、個別意見については要約して示した。

- ・ 檀家個々の思いや意見に耳を傾けることが大切と考え、このアンケートを実施したが、9割程度の方々からは好意的に受け止めて戴いたと思っている。

議 事

青木司市事務局長が運営委員総数 26 名のところ出席者 23 名により、本会は成立していることを報告する。

(議長選出)

会則に従い、長島宏会長が議長を務める。

議題 1. 新墓地区画について

(住職説明)

- ・ アンケートの送付に際し、新墓地の区画割と移転場所の候補を示した資料を添付したが、当初示したイメージ図とレイアウトをベースに作成したもので確定したものではない。
- ・ また、この区画割(案)では既存墓地面積が 39 m²の場合は 16 m²と半分以下になってしまう事や、それ以外の区画でも間口や奥行き形状により、墓石等が収まらないと考えられ、区画割(案)の再作成を検討している。

(意見)

- ・ 説明のとおり、実測したら墓石等が収まらない。アンケート結果では「提示された面積で了承します」との回答が大多数を占めたが、仕方が無いとの思いで回答した檀家も多いのではないかと。回答は全ての檀家から得られたか。

(住職説明)

- ・ 既存墓地の状況を勘案して、既に説明した通り間口を拓げるなどの工夫をした区画割(案)を再度作成する。また、現段階で回答なしが 30 通程度あるが全ての先に連絡を入れたい。

議題 2. 移転場所について

(住職説明)

- ・ 数名の檀家から場所指定があった。アンケート結果では「寺・移転協議会に一任」との回答がやはり大多数を占めたが、一任されても結果的に反対意見が出る恐れもあり、回答結果に反するが抽選方式が好ましいと思っている。

(意見)

- ・ 向きは変わっても既存の配置状況を望む檀家が多いのではないか。現在示されている区画割では、広い面積の区画が一番奥（上段）で手前は小区画となっており、アンケートにある（現在の墓地の位置を参考にします）とはならないのではないか。

(住職説明)

- ・ 基本的には個々の意見に耳を傾ける考えでいるが、新墓地用地の限られた面積を無駄なく区画割する必要性もあり現実的には難しいと思う。現在示しているレイアウトでは4m通路が二本入り、既存の状態より使い易いのでは。

議題 1. 議題 2. 共に類する議案のため一括して協議する。

協議結果

新墓地の区画割と移転場所については、極力個々の檀家の意向に沿いたいとの住職の考えを重視、区画割（案）を納得感が得られるまで作り直し、最終的には公開の抽選会を開催して決定することとした。

議題 3. 石材業者について

(住職説明)

- ・ アンケートでは7社ほどの石材業者の名前が挙がっている。次の議題4. 外柵について とも関連するが、墓石移転と外柵工事などを効率よく進めるためにも、複数の石材業者を束ねるトップの業者選定が必要かと考えている。

協議結果

小貫、小沢、小澤の3社を選定し、協議過程で代表となる石材業者を決定する。

議題 4. 外柵について

(住職説明)

- ・ 当初は統一して景観にも配慮したいとの思いもあったが、アンケート結果でも「隣の墓地との境界は個々にしたい」との回答も多く、檀家個々の既存墓地の状態や補償額の多寡など、個別事情を考えると新墓地の区画割と移転場所を確定させてからの協議でもいいのかと思っている。
- ・ また、既存のものは加工の費用負担生じると思われ、ある程度の統一感を持たせ新たに作る場合はどの位の費用が掛かるのか、検討材料として、石材業者に使用石材ごとのサンプルを作成してもらうことも考えている。

(意見)

- ・ 個々の既存の作りも違えば、そもそも外柵の無い檀家は補償金で賄いきれず国交省からの補償額が分らなければ判断しようがない。
- ・ 協議会の役割は区画割と移転場所の決定までで、その後の事は檀家個々に委ねてもよいのでは。
- ・ 共通仕様のもので、3種類程度の使用石材ごとのメートル当り価格が分れば外柵サンプルは作らなくともいいのでは。

協議結果

石材業者に概算費用を提案してもらおう。統一したもので新たに作るか、既存のものを個々の対応とさせるか、新墓地の整備や区画割、場所などの進展状況に応じて今後の協議とする。

議題 5. その他

(住職発言)

委員会を年内にもう一度開催したい。その間に寺報「薫風」で経過報告等を檀家に伝えたい。

以上、全ての議事を終え、新たに選出された運営委員の長島義信氏と須永好一氏を紹介し、長島会長が議長席を降りる。

閉 会

第6回運営委員会は午後3時25分、園部貞雄副会長が運営委員各位に謝意を述べ閉会を宣言した。

議事録作成者：事務局 須加秀広

令和 年 月 日

議事録署名人

